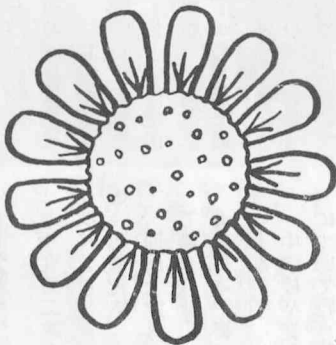




豊作が予想される葉たばこ

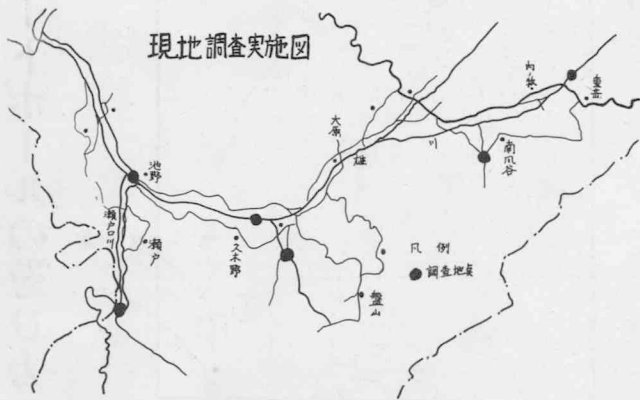
葉たばこは本町にとって畜産、緑茶と共に主要な換金作物になっています。本年度の葉たばこは、耕作者四四人、耕作面積三六七〇アール（三六町七反）で一人平均八三・四アールとなっています。本年は、気象条件に恵まれたこと、肥培管理が徹底したこと等により、作柄は例年になく上々で、品質も良く、このままでいくと平均反当量目二七〇kg、反収二八万円～二九万円は確実で町全体では約一億円の賠償金が見込まれています。たばこ耕作は、販売面では最も安定した換金作物で、条件のそろった農家には、ぜひ奨励したい作物です。



七月のこよみ

- 1月 町長と青年と語る会
- 4月 選挙管理委員会
- 7日 参議院議員投票日
- 8月 消防団長 副団長会
- 11月 田代小中BCG接種
- 12月 大原永寿会
- 15月 川原永寿会
- 16火 大原小中ツベルクリン、麓永寿会
- 18木 大原小中BCG接種
- 19金 心身障害者連絡総会
- 20土 町内小中学校終業式
- 23火 一般胃検診
- 26金 農業委員会
- 30火 小組合長町内研修

※ 下旬こどもソフトボール大会の予定



ニジマス養殖現地調査結果

養殖条件は最適

昨年、本町ではニジマスの試験養殖をしましたが、その結果が非常に良かったため、本年度は更に町内の希望者により、ある程度本格的な養殖を計画し、先程町内の希望者を募った所、二十数人の申込があり、その内七、八人は近日中に稚魚がはいることになっています。

このような町民のニジマス養殖熱の高まりに対応し



調査は主として雄川本流及びその支流の全部について実施されましたが、調査の結果は水質、年間平均水量等、今後まだ詳しく調査する必要があるが、目で見ただけでは河川の形状、水量、水質は誠にすばらしく九州一の淡水魚の養殖適地ではないかということでした。

今後、水質、水量等の科学的な調査を実施し、その結果、マスを始めとする淡水魚の養殖適地であるとの判定があれば、これを一つの産業として育てることも考えられるし、また、山村という特性を生かしたレクリエーション施設としての釣り堀、釣り堀の設置も考えられ、町民経済の上にも大きくプラスすることが考えられます。

オムタゴチャ イットモハンド

永寿会員のゲートボール練習

高齢者のスポーツとして、今各地でゲートボールが大流行しています。

この競技は、キネ形の木製のステッキで、テニスボール大のボールを持って、三つのゲート（門）を通し、最後にコートの中心に立てられたボール（棒）に当てる競技です。

この競技の特徴は、走る、飛ぶという高齢者に不向きな運動は必要でなく、ゆっくり立ち止ってステッキを振る外、ゆっくり歩いてできる競技で運動不足になりがちな高齢者には最適の競技であります。



本町でも競技用具一式を各永寿会に備えつけ、毎月、例会のあと猛練習中です。最初はなかなかボールがゲートを通らず思うようにいかないようですが、練習を重ねたら技術もうまくなり、いろいろの応用もでき非常に面白い競技です。

数ヶ月後には、各永寿会対抗のゲートボール試合が開かれ、優勝を争うことになるでしょう。

（ゲートボールの遊び方は次頁をみてください）



消防団幹部異動

消防団長、鶴園末吉氏及び副団長有里虎二氏は、この程一身上の都合により勇退され、後任に現副団長の金子貢氏が団長に、副団長に川原分団長の富尾一己氏と大原分団長の新村進氏が任命されました。鶴園末吉氏は、昭和二十八年十月団長を拝命以来今日まで二十余年余に在職されました。その間、町消防団の発展のため献身的に努力され、本年三月にはその功績が認められ、藍綬褒章が授与されました。

消防自動車及び小型動力ポンプを配備すると共に、消火栓、防火水槽等、消防水利の計画的な整備をはかり、各分団の詰所を整備する等町消防団の消防力の向上に顕著な功績を残されました。（写真中央が金子団長、右側新村、左側富尾各副団長）



(第1表) 49年度過疎計画事業内訳 (単位円)

区分	事業内容	事業費	構成比
道路整備	町道7線農道2線 林道1線	80,300	69.0%
教育文化施設			0
生活環境施設	防火水槽2	1,600	1.4
農林業振興	近代化施設外	34,460	29.6
計		116,360	100.0

総額一億一千六百万円

本年度は、前期過疎計画（四十六年～四十九年）の最終年度に当たりますが、このはど本年度の過疎計画が県との協議を終り決定しました。ここにその概要を説明いたします。

本年度は、国のインフレ対策としての総需要抑制政策によって、公共事業等は押さえられた事と、町長の改選期であったため、事業費は前年度二億九七〇万円に

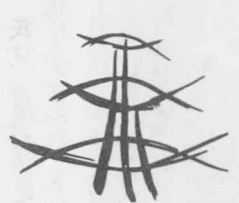
(第2表) 前期過疎計画実績表 (49年度は見込)

区分	単位	46	47	48	49	計	備考
町道	改良	m	342	726	1,500	1,626	4,194
農道	舗装	m	2,080	4,330	5,819	2,470	14,699
林道	新設	"	1,232	600	280	350	2,464
校舍	新築	"	-	-	480	300	780
屋体	新築	"	-	-	1,080	570	1,650
プ	舗装	"	-	-	-	150	150
地区運動場	舗装	m ²	840	650	-	-	1,490
消防自動車	"	"	-	-	(1)	733	(1) 733
防火水槽	ケ所	"	-	1	1	2	2
消防詰所	台	"	1	1	1	3	3
患者輸送車	台	"	1	1	1	3	3
農地造成	(ケ所)	(2)	-	-	-	-	-
草地造成	(")	16.1	-	-	(1)	8	(3) 24.1
圃場整備	(")	(1)	-	-	(1)	5	(1) 5
農業近代化施設	ケ所	12.9	-	-	-	-	-
公園整備	"	"	-	-	1	1	2
簡易水道	"	"	-	-	※1	※1	※1

事業の内容は1表のとおりで、道路整備六九%、生活環境施設一・四%、農林業振興二九・六%となっています。

尚本年度を以て、前期計画は終るので、ここに前期計画の実績を第2表としてお示しします。

この表によると、道路の舗装は約一五〇〇〇mになり町道全体の約二〇%に達することになります。また、義務教育施設については、大



原中学校を除き校舎、屋体、プール等は完備されました。地区運動場も四ヶ所完成（内一ヶ所は花瀬公園内に設置）することになります。

農林業関係では、農地造成三地区、草地造成一地区、圃場整備一地区、計五地区四二ヘクタールの基盤整備事業が実施されたほか、大型茶工場一、ひらたけ培養施設一が建設される見込です。

また町民憩いの場として、花瀬に町民公園を計画し四八年度から用地の買収を始め、四九年度から運動広場等一部の整備に着手、三年程度で全部が完成する見込みです。

以上が、前期計画のあらましであります。先月号の本紙で説明しましたように、本町の過疎は依然として進行しています。

後期の過疎計画においては、これらの原因を充分検討し、効果的な対策を実施しなければなりません。

自衛官募集

本年度第二次自衛官募集が次により実施されます。

※ 応募資格

採用予定月の一日現在で満一八才以上二五才未満の日本国籍を有する者

※ 試験科目

中学校卒業程度の学力について行なう筆記試験、身体検査、適性検査及び口述試験とする。

※ 募集期間

(一)男子 昭和四十九年七月一日から同年九月三十日まで

(二)女子 昭和四十九年八月一日から同年九月三十日まで

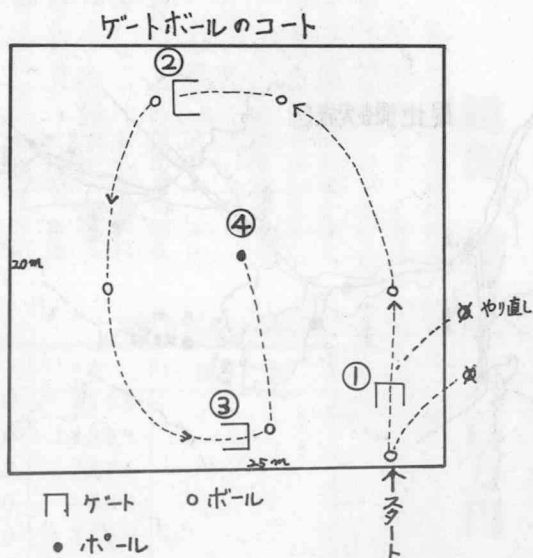
交通事故相談所 鹿屋支所開設

鹿屋市の県合同庁舎内の財務事務所に、交通事故相談所鹿屋支所が開設されました。

相談日は毎週木、日曜を除く毎日 午前八時三〇分から午後三時（土曜は正午）までとなっています。

お困りの方は遠慮なく御相談ください。

ゲートボールの遊び方



※競技者

1組10名を赤組5人、白組5人の2組に分ける。

※競技方法

・赤白、赤白の順でスタートから第1ゲート、第2ゲート、第3ゲートと順次ボールを通過させ、最後にボールにあてて。
 ・球打ちは1回だけしかできない。失敗したら次の順番がくるまで待っている。
 第1ゲートの場合、球がゲートを通過しても場外に出た場合は失敗となる。
 ・1回の競技時間は30分間で、この時間内に味方のボールが何個「ボール」に当

ったか、または、各ゲートを何個通過しているかによって勝負を決める。

※点数の取り方

・時間内にすべてのボールが各ゲートを通過して、早くボールに当たった方を勝とする。
 ・時間内にすべて当たり終らなかった場合は、次の採点法による。
 ポールに当たったボール5点
 第3ゲート通過ボール3点
 第2ゲート " 2点
 第1ゲート " 1点
 ・同点の場合は、ボールに当たった数の多い方を勝とする。尚同点の場合は、代表

者によって第1ゲート通過の決勝戦を行う。

※反則と利点

・反則

打球を1回目に失敗した場合に連続して2回行うこと。第1ゲートを通過した後、競技中に球がライン外に出た場合は、ラインの通過点を球の位置とする。

・利点

打球がゲートを通過したら、更にもう一回球を打つことができる。打球が他人の球に当たった場合も同様

(注)

長い間ご苦勞さんでした
退任する原町長

原町長は、三期十二年に亘る町長の大任を終えられ、去る六月十三日職員の手拍子に送られながら想い出多い庁舎を出て行かれました。長い間、本当に御苦勞さんでした。町長の今後の御健勝を心からお祈りいたします。

ゲームの進め方については、以上の外にまだ細かいまりがありますが、今回は省略します。

七月の主な行事

社会を明るくする運動

七月一日から一ヶ月間

犯罪の防止と罪を犯した人々の改善更生について、国民のすべてが力を合せて、明るい社会を築くことを目的とする運動です。

愛の血液助け合い運動

七月一日から一ヶ月間

年々高まっている献血運動をさらに盛上げるため、期間中、血液に対する正しい知識、献血の意義を周知させるための諸行事が全国的に実施されます。

自然に親しむ運動

七月二日から八月二〇日まで

太陽と緑がいっぱいの季節です。スポーツに、レジャーに大いに自然に親しみましょう。

昭49, 6, 1 現

世帯数	1,513
人口	4,881
男	2,269
女	2,612

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません